

経済産業省・独立行政法人情報処理推進機構
第7回 データマネジメント人材の育成に関するタスクフォース
議事要旨

- 日 時 令和7年12月15日（月）15:00～17:00
- 場 所 経済産業省（本館2階東1未来対話ルーム）
- 事務局 経済産業省、独立行政法人情報処理推進機構

1) 前回タスクフォースの振り返り、DSS改訂スケジュールの共有

事務局より、前回タスクフォースの振り返り、改訂スケジュール案について、説明が行われた。

2) 議題1：データマネジメントのスキル項目の確認（修正案の提示・意見交換）

事務局より、第6回ならびに第7回開催前に各委員からいただいた意見を踏まえた「スキル項目（修正案）」と「各ロールの重要度割り振り（案）」が提示された。最終案について各委員からの異論はなく承認した。

3) 議題2：他類型とのスキル重要度調整、その他改訂の進め方の確認

事務局より、他の類型においてスキルの改訂を検討している部分の関係整理、調整の進め方について説明。

- DSSのうち特にデータサイエンティストとデータマネジメントの関係については主査会議にて調整する旨承知した。
- 悩ましい論点は主査と事務局に一任し主査会議での収束をお願いする。

4) 議題3：プロモーションの進め方の確認

事務局より、第4回資料を再掲し、戦略アイデアの振り返りと認知度向上施策を説明。

- 現在検討中の施策について
 - 3月のJDMC（日本データマネジメント・コンソーシアム）主催のカンファレンスで「データマネジメント試験に取り組む意義」「TFでの議論の生の声」を伝え、ビジネス層へ着信させる場を用意。DSS改訂公表に合わせ告知を展開。
 - IPAでもデータやAIに関するセッションを開催予定である。
- 今後検討とメッセージングについて
 - 大型カンファレンスについては、来場者属性から、マネジメント層への波及効果は高い見込み。

- 打ち出し方を誤ると「AIの裏方で地味」という認知になりかねないため、文脈設計が重要である。
- 若年層向けに「AIに代替されにくいスキル」「AI活用の肝としてのデータマネジメント」を伝えると刺さりやすい。スキルのアップデートのためのリスクリングとしての提示も有効。
- 生成AIをつかい企業が競争を優位にするには「データ・AIを使いこなす人材・安心して挑戦・失敗できる組織風土」が大事。プロモーションをするうえで、分かりやすいメッセージを発信していくのが良いと思う。
- ペルソナ定義を明確化し、代替されにくいスキルだという部分を強調して大学・就職層へ訴求していくのが良いのではないか。
- 新卒からデータマネジメント職を目指すことは難しいため、若年層にはAI活用の文脈から入る訴求が現実的ではないか。
- 若者の意思決定は雰囲気・報酬・負荷に反応。先輩の楽しそうな姿を発信するインタビューの発信は有効だと考える。
- 企業、ツールベンダー連携でのウェビナー等で集客を加速させネットワークを活用した横展開を行えていければ良いと思う。

5) 閉会

主査・全委員から、データマネジメント人材の育成に関するタスクフォース（全7回）の活動を通じた所見を頂戴し閉会となった。

以 上

<お問い合わせ先>

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課
電話：03-3501-1511（内線：3971～3975）

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
デジタル人材センター人材プロモーションサービス部
お問い合わせ：dhrc-dss-info@ipa.go.jp